

産業厚生常任委員会 資料

令和5年9月5日

健康福祉部 福祉総務課

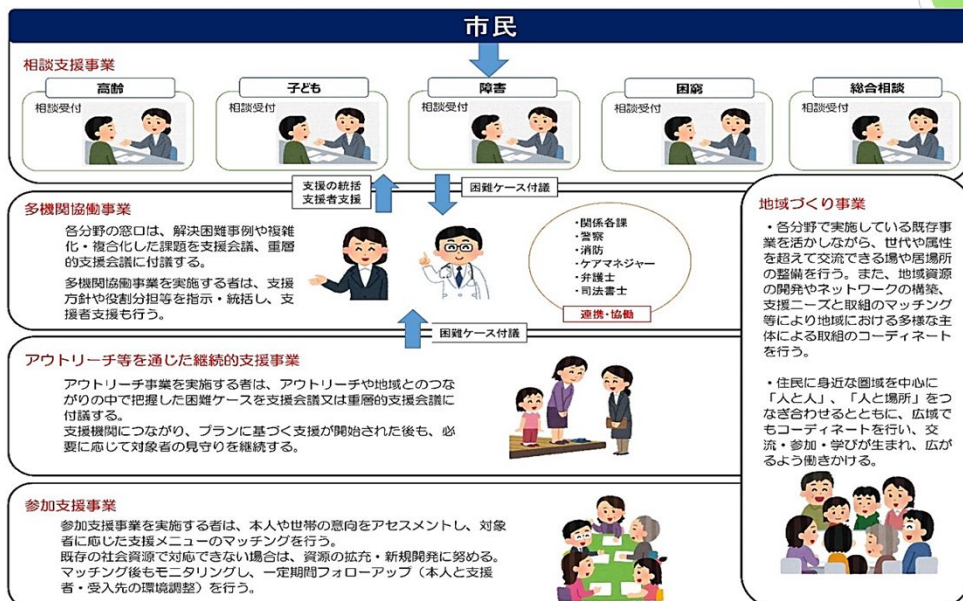
## 目次

重層的支援体制整備事業の取組について……………	1
-------------------------	---

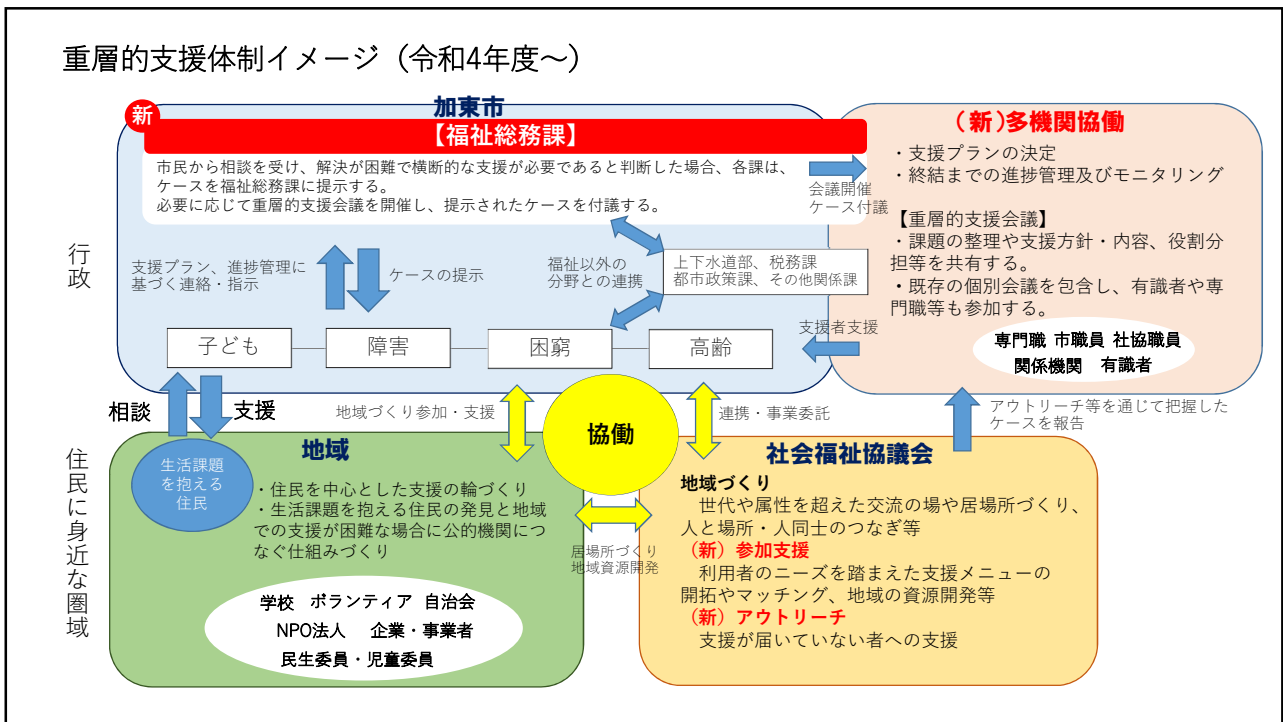
# 重層的支援体制整備事業の取組状況について

健康福祉部福祉総務課

## 「包括的相談支援」に関する体制・取組の内容

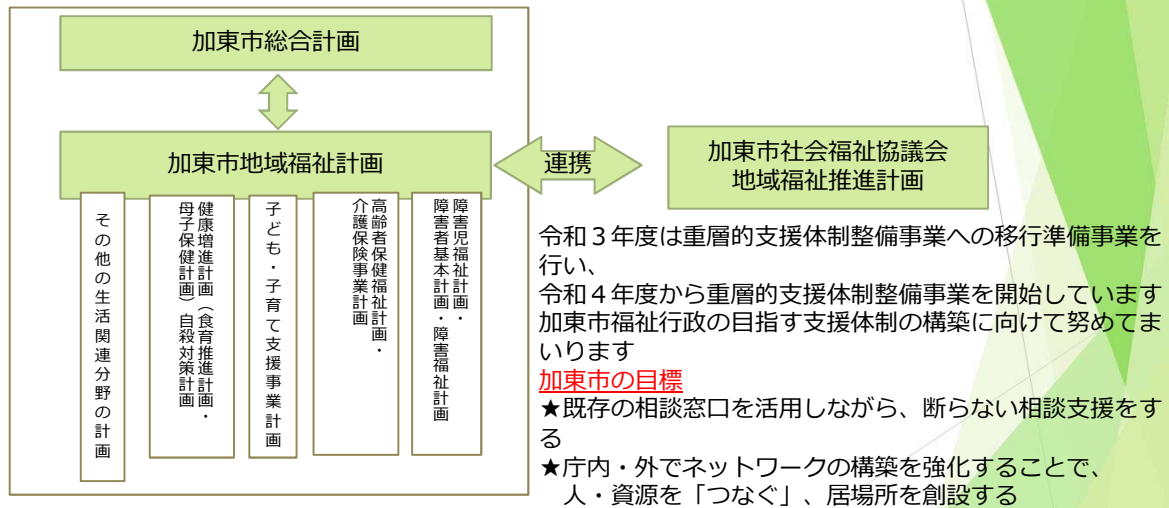


## 重層的支援体制イメージ（令和4年度～）



令和3年度（決算）							令和4年度（決算）					
事業区分	事業名	事業費 (千円)	国費	県費	市費	その他	事業費 (千円)	国費	県費	市費	その他	
												既存事業
障害者相談支援事業	4,000	1,720	860	1,420	0	4,000	1,243	621	2,136	0		
利用者支援事業（基本型）	7,329	4,886	1,222	1,221	0	7,321	4,660	1,220	1,441	0		
利用者支援事業（母子保健型）	1,974	1,315	328	331	0	2,040	1,580	340	120	0		
自立相談支援事業	8,296	6,222	0	2,074	0	8,325	6,243	0	2,082	0		
② 地域づくり	一般介護予防事業（地域介護予防活動支援事業）	2,036	575	254	254	953	3,162	647	395	395	1,725	
	生活支援体制整備事業	13,571	5,225	2,612	2,612	3,122	13,420	5,166	2,583	2,583	3,088	
	地域活動支援センター事業	608	261	130	217	0	1,495	466	233	796	0	
	地域子育て支援拠点事業	35,352	10,871	10,871	13,610	0	37,700	11,885	11,885	13,930	0	
地域子育て支援拠点事業（コロナ対策分）	626	209	200	217	0	0	0	0	0	0		
新規事業	③ 多機関協働等	多機関協働事業	6,107	4,580	0	1,527	0	4,702	3,527	0	1,175	0
	アウトリーチを通じた継続的支援事業	4,600	3,450	0	1,150	0	13,087	9,815	0	3,272	0	
	参加支援事業	5,330	3,997	0	1,333	0	8,139	6,104	0	2,035	0	
計		116,794	53,693	21,668	31,157	10,276	136,411	64,048	23,633	36,321	12,409	

## 地域福祉計画に重層的支援体制整備事業を位置づけ



## 令和4年度 相談件数実績

担当課	事業名	事業成果
社会福祉課	生活困窮者自立支援事業	相談支援件数：延べ2,293件
	障害児（者）相談支援センター運営事業	相談件数：延べ3,308件
高齢介護課	地域包括支援センター運営事業（総合相談事業）	相談対応件数：延べ6,042件
	包括的・継続的ケアマネジメント支援事業	介護支援専門員からの相談件数：延べ299件
こども教育課	利用者支援事業	相談件数：34件
福祉総務課	多機関協働事業	総合相談件数：30件
	参加支援事業（社会福祉協議会へ委託）	新規支援件数：26件
	アウトリーチ等を通じた継続的支援事業（社会福祉協議会へ委託）	新規支援件数：62件

## 令和4年度 会議実績

### ◆支援会議（本人同意なし）：5回

開催回数	出席者
第1回	高齢介護課、加東警察、医療機関、介護事業所、福祉総務課
第2回	健康課、高齢介護課、社会福祉課、発達障害者支援センター、福祉総務課
第3回	社会福祉課、医療機関、訪問看護事業所、福祉総務課
第4回	療育機関、福祉総務課
第5回	社会福祉協議会、民生児童委員、保険医療課、家族、福祉総務課

### ◆重層的支援会議（本人同意あり）：2回

開催回数	出席者
第1回	社会福祉課、社会福祉協議会、福祉総務課
第2回	防災課、都市政策課、高齢介護課、社会福祉協議会、福祉総務課

## 重層的支援体制整備事業の成果事例

家族構成  
80歳後半の女性  
一人暮らし

### 区長からの相談

- 年金生活で余裕がなく、自宅老朽化の修理費用が捻出できなかった
- 数年前から老朽化が目立っていたが、台風で瓦が飛び、市道や里道に落下している
- 応急処置のブルーシートも破れ、雨漏りが酷く玄関も倒壊の危険性がある

### ◎支援会議を開催

※支援会議は、社会福祉法第106条の6に基づき、会議の構成員に対する守秘義務を設け、個々の事案の共有や地域における必要な支援体制の検討を円滑にするものである

#### 《参集者》

高齢介護課（地域包括支援センター）、都市政策課、防災課  
社会福祉課（困窮）、社会福祉協議会、福祉総務課

#### 《会議内容》

- 本人の置かれている状況の情報共有
- 家屋の被害状況と活用できる制度について  
（家屋の修繕・近隣被害防止・罹災証明・資金貸付・住宅改修）
- 本人の安全確保  
（市営住宅・養護老人ホーム・敷地内の納屋、倉庫への住み替え）

➡ 役割分担を行い、本人への支援を開始していく







## アウトリーチ等を通じた継続的支援事業の実施体制

### 加東市社会福祉協議会へ業務委託

- 社会福祉協議会の地域福祉に携わる職員が担当
- 地域の課題やニーズを把握
- 小地域福祉活動、シニアクラブ活動、ボランティア活動、給食サービス等の関係事業から困りごとを集約する他、民生委員・児童委員と連携し、早期発見・早期介入に努める

#### 《取組実績》

- ・ 地元企業による移動販売の実施・サマースクールの開催
- ・ ひきこもり支援勉強会の開催、出張相談会の開催

### アウトリーチ×相談支援×参加支援

#### 《アウトリーチ》

近所の方から「買い物や生活するのに困っている人がいる」と相談

#### 《参加支援》

地元の商店に相談し、移動販売が開始される

#### 《相談支援》

病院を受診し、障害者手帳取得



フレッシュにしお・藤本食品店  
(移動販売)





## 課題と今後の取組

### 《課題》

- ひきこもりの方や支援を拒否されている方へのアプローチ方法
- 未成年の子どもに対するアプローチ方法
- 不登校の子どもやひきこもりの方の居場所が少ない

### 《今後の取組》

- ひきこもりの方の相談窓口について検討
- 関係課と連携して働きかけていく、支援会議を行う
- 困っている方だけでなく、支援者になり得る協力者を見つけていく

## 参加支援事業の実施体制

### 加東市社会福祉協議会へ委託

- 社会福祉協議会の地域福祉に携わる職員が担当
- 相談者を居場所や活動の場へ結びつける
- 地域づくりと連動し、相談者が活用できる社会資源を増やす

### 地域づくり事業と連携（取組実績）

- 地区や介護支援専門員へ防災と福祉の研修を実施
- 子ども食堂や福祉事業所へフードバンクを活用した食材提供
- 地域住民主体の活動（物忘れ予防カフェや日本語教室、オセロの会等）
- 地元の大学生ボランティアによる学習支援や他ボランティア団体による居場所の立ち上げ支援

## 参加支援×参加支援

日常生活のちょっとしたお手伝いが  
地域の支援や生きがいに繋がっています



## 課題と今後の取組

### 《課題》

- 職員間の知り得た地域資源の共有
- 居場所支援との連携
- 社会資源の発掘

### 《今後の取組》

- 共有ツールの活用
- 居場所支援の継続と団体間との橋渡し
- 事業の啓発、各種団体の集まりや催しに積極的に参加

## 多機関協働事業の実施体制

### 直営：福祉総務課

- 福祉総合相談窓口の設置
- 担当職員（専門職）を配置
- 総合相談窓口のコンシェルジュ的な役割
- 各部署にまたがる困難ケースの対応
- 各関係機関の連絡、調整、関係構築を図る
- 地域の実情に合わせた地域資源（地域づくり）の把握等

#### 《取組実績》

重層的支援会議・支援会議の調整、福祉と防災の研修会を開催、  
医療機関への働きかけ（専門職の派遣について）、地域の取組を発表

## 課題と今後の取組

#### 《課題》

- 高等学校を卒業した後、社会とのつながりがない人の居場所がない
- ひきこもり相談窓口がない
- 支援に繋がりにくい方をどう支援していくか

#### 《今後の取組》

- ひきこもり相談窓口の設置に向け、庁内検討会の開催
- 支援に繋がりにくい方のケース共有会議の開催
- 社会福祉協議会と連携し、居場所支援の在り方について検討